

支援会議用シート 例集(学校編(校内支援会議等))

対象児 高崎 A男(たかさき えーお)

開催日: 2019年4月18日(木)

開催場所: ○○小学校

開催時間: 16:00~

主催者: 特別支援教育コーディネーター ○○

会議出席者: ○○先生(担任)、○○先生(○年)、校長先生、教頭先生、○○先生(養護教諭)、○○先生(生徒指導担当)、○○先生(教育相談担当)

目的	・情報共有と今後の支援について(本児の発達の見立ての共有、対応について、今後の見通し等)
----	--

本人の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会後に登校を渋るようになったため、保護者及び本人と相談して保健室登校を認めた。2時間目から登校し保健室で1時間ほど過ごし帰宅している。学習は、担任が学年相当のプリントを配布しているが、全て取り組むことはできないので、宿題として持ち帰っている。 ・大勢での活動の場面が苦手なため、教室の隅へ行きたがる様子がある。 ・家でゲームをすることが多く、興奮すると大きな声を出してしまうことが多い。 ・昼夜逆転していて、朝の4時ごろ眠っている。 ・「疲れた」と言うことが多い。 ・偏食あり。
-------	---

共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・医療との連携が必要。 ・昼夜逆転の生活を見直す。 ・学習の進度面で遅れが出てきているので、プリント学習などで補完する。
------	--

●共通理解を受けて、各担当での支援方針等

	本人および保護者	担任	養護教諭	管理職(空き時間の先生)
各担当の役割や支援	<p>(本人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2時間目の登校に間に合うように登校するペースを守る。 ・ゲームを止めて、少しでも早く眠るようにする。 <p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を送れるようにする。(あいさつをかわす、夕食は家族でとる) ・学校と本児の学習環境(特別支援学級、通級指導教室、適応指導教室)について話し合う。 ・本児の医療受診を継続させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本児と保護者に対して、学習環境(特別支援学級、通級指導教室、適応指導教室等)について話し合う。 ・学習面での遅れが広がらないよう、負担にならない程度のプリント等での学習を継続する。 ・保健室に登校した場合は、時間が許す限り、本児に会うようにし、家や学習の様子、雑談などを通して、関係づくりをする。 ・利用している関係機関(放課後等デイサービス、こども発達支援センター)に連絡を取り、本児及び家族の様子を確認し、支援方法について連携する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室に登校した場合は、本児とやることを確認し、決めたことができるよう見守る。 ・本児の生活の様子を、雑談の中で把握する。 ・保護者に対して、医療機関の受診時の様子を確認し、規則正しい生活を送れるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室が空いていない場合、担任及び養護教諭と連携し、本児を見守る。 ・学校にいる時間の、担任及び養護教諭との約束等が守れるように支援する。 <p>(管理職)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本児と保護者に対して、学習環境(特別支援学級、通級指導教室、適応指導教室)が調整できるよう話し合う。

※【 】の中には、支援者名等を記入してください